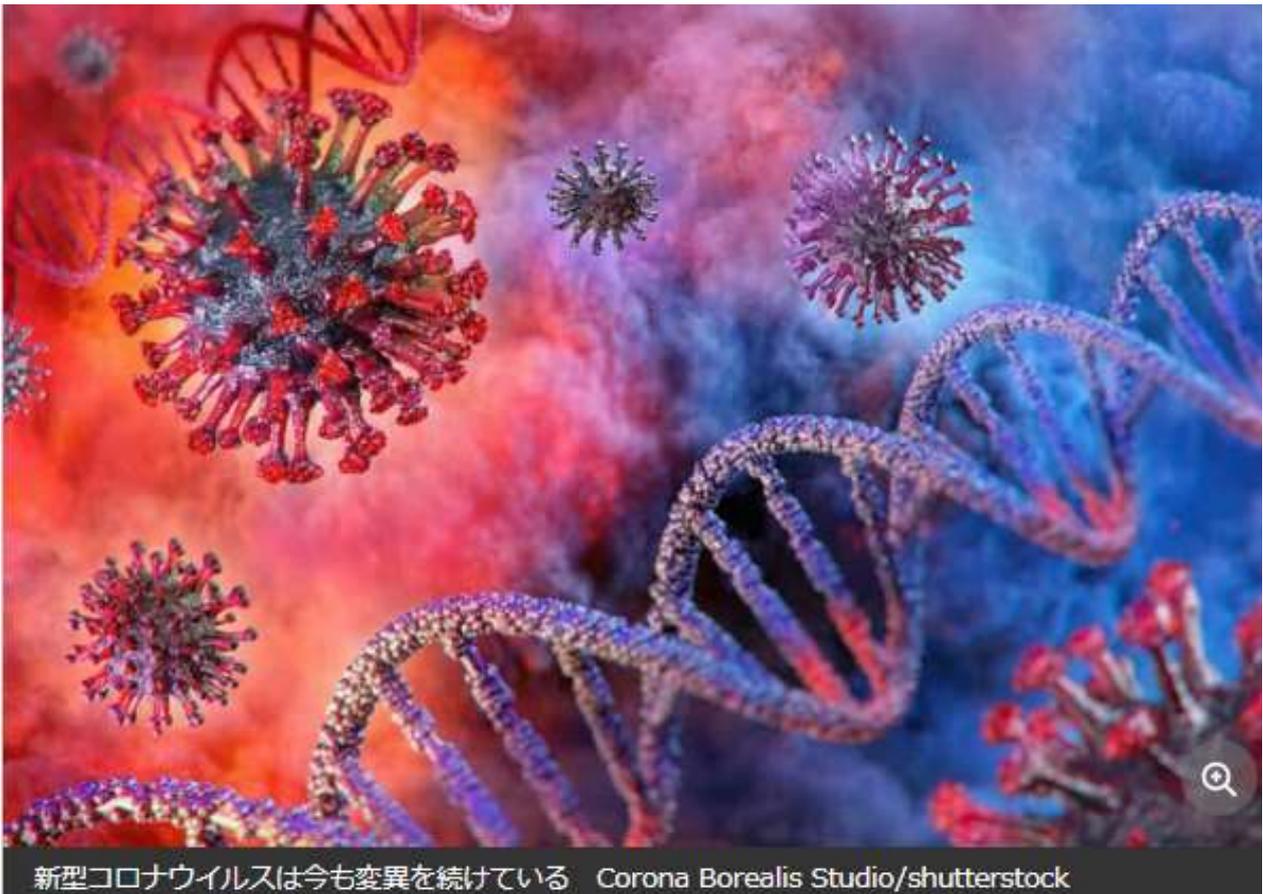


## この夏流行？新型コロナウイルスの変異ウイルス「FLiRT」がアメリカで広がっている

5/9 ニューズウィーク



新型コロナウイルスは今も変異を続けている Corona Borealis Studio/shutterstock

＜アメリカの下水道で発見されたオミクロン株の仲間が、この夏流行するのではないかと懸念されている＞

科学者たちは、この夏、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の波がきそうだと警告している。アメリカで、かつて大流行したオミクロン株の亜系統（遺伝子配列が異なるウイルス）が広がっていることがわかったからだ。【パンドラ・デワン】

これらの新しいウイルスは、スパイクタンパク質における変異の位置から「FLiRT（フラート）」と総称されている。FLiRTは、これまでの亜系統と何が違うのだろうか？ 本当に懸念すべきものなのだろうか？

英ウォーリック大学の分子腫瘍学教授を務めるウイルス学者のローレンス・ヤングは本誌の取材に対し、「FLiRTは米国の下水道で初めて確認されたが、正確な起源はわからない」と述べた。「（現在）米国内外で広がっている」

米疾病予防管理センター（CDC）のデータによると、アメリカではいま新規感染の25%がFLiRTの一種のKP.2によるものだ、とヤングは言う。「このKP.2が夏の感染の波を引き起こさないか懸念している」

初期の証拠によれば、KP.2はこれまでの亜系統より感染力が強そうだが、危険性が高いかどうかを判断するのは時期尚早だ。

「この亜系統の拡大を監視すべきだが、今では検査もあまり行われていないことを考えると難しい」とヤングは話す。「新型コロナウイルスの拡大と免疫力の低下は、特に最も弱い立場にある高齢者や免疫不全者にとって問題だ」

「現在入手可能なワクチンは、これらの新しい亜系統に完全には適合しないが、これまでの亜系統と同様、ワクチンのブースター接種にはいくらかの防御効果が期待できる」とヤングは言う。「今後数カ月間、FLiRTの亜系統が小さな感染の波を引き起こす可能性はある」わかっている限りでは、症状は既存の亜系統と類似している。CDCは以下のような症状を挙げている：

- ・発熱や悪寒
- ・せき
- ・息切れ
- ・倦怠感
- ・筋肉や体の痛み
- ・頭痛
- ・味覚や嗅覚の喪失
- ・喉の痛み
- ・鼻水
- ・吐き気や嘔吐
- ・下痢

FLiRT から身を守るには、人との距離が近い場所ではマスクを着用するなど「通常の予防策」を推奨する、とヤングは言う。(翻訳：ガリレオ)